

南 風

2018年11月 第26号

南小ネットワーク基本理念

みなみかぜ

発行 有秋南小学校区安心安全ネットワーク
問合せ 姉崎保健福祉センター ☎ 62-8601

一人ひとりを尊重し
共に支え合い
みんなで創る
私たちのまち

行こう!

2018 X'masコンサート

マリンバ・ソプラノ・ピアノ コンサート

手のひらを太陽に、愛は花君はその種子
「西郷どん」のテーマ、心の瞳 他
皆さまで“クリスマスソング”を楽しもう!

おたのしみ抽選会

お菓子などプレゼントがあるよ!

日時：平成30年12月9日(日)
午後 1:00~3:00

場所：桜台自治会館 2階大ホール

南小ネットワークは、
支え合い助け合いのまち
づくに向けて活動してい
ます。その一環として毎
年12月には「お楽しみク
リスマスコンサート」を
開催しています。

子どもたちを中心に地
域の人々が一堂に会し顔
を会わせて、世代間交流
を図り地域の絆を深めた
いと思います。また地元
出身・在住の奏者による
素敵な演奏を共に聴き、

そして共に歌って音楽の
素晴らしさを実感し、チョッ
ピリお洒落なひと時を過
ごしたいと考えます。

いかがですか、新しい
年と一緒に楽しく迎えま
せんか!



あなたも狙われている
電話詐欺にだまされないで!

息子や孫、市役所職員、金融機関職員を名乗る
者から、「カバンを落した」とか「保険金の過払
い金がある」など嘘の電話が多数かけられていま
す。携帯電話をしながらATMを操作している人
を見たら声掛けを。また電話de詐欺の可能性が高
いことから警察に連絡しましょう。

政策について調べようとするとき、まず驚くことは行政情報の多さだ。最近よく云われる「地域包括ケアシステム」を調べる場合、地元の基本計画として、「市原市地域福祉パートナーシッププラン」や市原市社協の「市原市地域福祉活動計画」があり、その上位に「千葉県地域福祉支援計画」そして「老人福祉法」や「介護保険法」と云った法律がある。「市原市地域福祉パートナーシッププラン」の下には「高齢者保健福祉計画」や「障がい者基本計画」その他「次世代育成支援計画」等の個別計画がある。Web検索で項目程度なら簡単に調べられるが、それを読み込むとなると並大抵ではない。何かもっと判りやすい説明や解説はできないものか。共助の活動を行う者にとって、政策・施策の理解は必須であり、場合によっては、その適正を監視し提言することも義務である。(笹野)

**政策、施策に
関心を持とう！
知ろう！
話し合おう！**

今、気になる言葉（政策・施策）・・・

入管法案採決

11月27日、外国人労働者の受け入れ拡大を図る出入国管理法改正案の採決が、衆議院法務委員会で強行され、本会議でも可決され参議院に送られた。また最近地方議員のなりて不足で無投票当選が94議会に及んでいる(平成27年)。人口減少の影響が方々で顕在化してきた。

人口減少・高齢化・孤独化

有秋南小学校区域は約半数が65才以上の高齢者だ。“地域人口”は5,390人で、2005年からの13年間で約1,100人ほど減少し、超高齢化と空洞化が進んでいる。また“高齢者のみ世帯”が約940世帯あって全世帯の40%に及んでいる。

地域包括ケアシステム

団塊の世代(約800万人)が75才以上になる2025年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれている。このため厚生労働省においては、「介護」、「医療」、「予防」、「住まい」および「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し連携しながら在宅の生活を支えていく「地域包括ケアシステム」の構築を

2025年を目途に進めている。

コンパクトシティ

この春JA農産物直売所桜台店が閉鎖され廃屋が残されているが、人口が減少すると先ずスーパーが無くなり、より不便になって人口減少はさらに加速し下降スパイラルに陥る。こうした人口減少社会への対応として、1970年代から始まったのが“広いエリアに点在して暮らしている住民を一つの狭いエリアに集め、そこだけにインフラや公共サービスを提供するという”「コンパクトシティ構想」です。市原市でも“コンパクトシティ・プラス・ネットワーク”のまちづくりを推進するため「立地適正化計画」を策定し、2018年3月に公表している。

(いちぽ(いちばらポイント))

人口減少や少子高齢化が進む中で、将来にわたって活力ある地域社会をつつていくため、市民の皆さんの地域活動への参加を後押しし、健康の増進や地域住民同士のつながりを深め、地域の活性化につなげることを目的とした制度。対象事業に参加することでポイントがたまり、たまったポイントをクオカードと交換することができる。



有秋南小校区地域の「支え合い・助け合い」活動 「声掛け訪問活動」について **募集中**

(市原市では「安心生活見守り支援事業」と云っています)

本稿は「みなみかぜ 13号」に掲載したものを改訂加筆したものです。

【事業の概要】

市原市では「誰もが住み慣れた地域で末永く安心して暮らせるまちづくり」のため市内各小学校校区における小域ネットワークと連携し「安心生活見守り支援事業」を展開しています(右図の広報誌「いちほら」を参照下さい)。一人暮らしの高齢者や障がい者の方々が日々安心して生活できるよう「安心訪問員」という地域のボランティアの方が定期的に「声掛け希望者」宅を訪問し安否確認を行っています。

南小校区地域においても、高齢者や障がい者の方々がご近所同士の「ちょっとした声掛け」を通し、安心して暮らせる地域づくりのため、市原市や社会福祉協議会、町会・自治会および地域ボランティア団体と協働して声掛け訪問活動を推進しています。

【募集・・・訪問希望者、安心訪問員】

この事業で「声掛け訪問をお願いしたいと思われる方(訪問希望者)」や、ご近所に「定期的な声掛けが必要な方」がおられましたらご一報ください。

併せてボランティアとして高齢者などへの声掛けや見守りをする「安心訪問員」として活動していただける方のご応募もお待ちしております。

【声掛け訪問活動とは】

「安心訪問員」が「訪問希望者」宅を月1~2回程程度訪問し、お話・相談相手になり不安の解消に努めます。但し、訪問の方法等はご相談のうえ決めます。

【訪問希望者の要件】

- ①65歳以上の高齢者
 - ②障害のある方
 - ③その他定期的な支援が必要な方
- (注) 運営上必要な個人情報を提供できる方(個人情報は、南小ネットワークが厳重に管理し本事業以外で使用することはありません)

【安心訪問員の研修】

活動開始前の「基礎研修」とその後は毎年1回の「フォローアップ研修」があります。

【申し込み要領】

「訪問希望者」および「安心訪問員」の申し込みは、右記の「問い合わせ窓口」へ直接または電話等で「仮申し込み」をお願いします。追っ



いちほら

2019年(平成30年) 12月号
毎月1・15日発行

2月
15日

ICHIHARA CITY since 1963

誰もが安心して暮らせるように 地域における高齢者などの見守りを支援

市では、少子高齢化に伴う地域課題に対応するため、市原市社会福祉協議会などと連携し、一人暮らしの高齢者など、支援が必要な人を地域で支え、安心生活見守り支援事業を行っています。

安心生活見守り支援事業として、市原市社会福祉協議会、南小ネットワーク、町会・自治会、NPO等と連携し、一人暮らしの高齢者など、支援が必要な人を地域で支え、安心生活見守り支援事業を行っています。

地域の人々の声、若者小学校区長さんネットワーク、NPO等と連携し、一人暮らしの高齢者など、支援が必要な人を地域で支え、安心生活見守り支援事業を行っています。

てネットワーク会員がお宅を訪問の上、申し込み手続きを完了します。

本件に関するご意見やご質問も「問い合わせ窓口」までご連絡ください。



問い合わせ窓口	
市原市保健福祉課	☎23-9768 (大橋)
姉崎保健福祉センター	☎62-8601 (富樫)
有秋南小ネットワーク	☎66-5246 (笹野)
天羽田町会	☎09071735312 (宇井)
深城町会	☎66-3304 (豊田)
みどり町会	☎66-5024 (伊井)
椎の木台自治会(自治会館)	☎66-1072 (大津)
桜台自治会(自治会館)	☎66-1341 (宮崎)
各地区の民生委員・児童委員	
有秋南小ネットワーク会員	

CAMERA REPORT

2018.9~11



マラソン練習始まる ゴールを目指して！



横断旗のリーダーに続いて渡ろう！



築山も綺麗に！



作業前点検 安全に元気に！



和光苑と交流 お笑いショーで大笑い！



秋のお祭りシーズン みんなで一緒に！

イベント案内 (11月~1月)

月	日	曜	内 容
12	1	土	安心訪問員会議 (椎の木台)
	4	火	南小マラソン納会
	9	日	お楽しみクリスマスコンサート
	18	火	NW推進委員会 (桜台)
1	13	日	有秋地区成人式
	15	火	NW推進委員会 (椎の木台)
	22	火	安心訪問員会議 (桜台)
	30	水	NW防災研修
2	2	土	安心訪問員会議 (椎の木台)

編集後記

9月から朝の登校時に南正門の前で、黄色の横断旗を持って立っている。前任の二人の都合引退により私とAさんが代わって立つことになった。またこの度、Kさんが新たに加わってくれ三人となりました。

あれから約3か月になる。色々あるが、何といっても嬉しいことは、互いに交

す朝一の笑顔であり、挨拶であり、ちょっとした会話である。それも小学生だけでなく、自転車通学の中高生、バス通勤の通勤者そして散歩の地域の方など、多くの人々とコンタクトできることです。

9月から、子どもたち自身の安否確認力アップのため、横断旗を持って自分でも色々あるが、何といっても左右確認のうえ横断することになっています。(S.T)